

高崎健康福祉大学人材養成に係る目的

高崎健康福祉大学学則第1条2により、各学部・学科毎の人材養成に係る目的について、次のように定める。

健康福祉学部

- 医療情報学科：健康・医療に関する専門知識と先端情報技術を兼ね備えた健康医療分野の情報化を担う人材を養成する。
- 社会福祉学科：高度化・多様化する福祉ニーズに対応した専門的知識と技術に基づき、他職種と連携して福祉・介護サービスを必要とする人々の自立と自己実現を支援できる、豊かな人間性を備えた社会福祉専門職を養成する。
- 健康栄養学科：人々の健康の維持・増進及び傷病者に対する適切な栄養指導を行い、社会に貢献できる管理栄養士、及び、広く深く学術を習得し、行政、教育、科学技術の場で活躍できる人材を養成する。

薬学部

- 薬学科：薬に関する基礎教育とヒューマニズム教育を徹底し、薬学専門家にふさわしい知識と倫理観を兼ね備え、創薬や医療の現場で活躍できる薬剤師（医療人）を養成する。

保健医療学部

- 看護学科：高い教養と豊かな人間性に裏打ちされた倫理的判断力・実践力・国際的視野を兼備したプロフェッショナルな看護師・保健師を養成する。
- 理学療法学科：科学的根拠や論理的思考に基づいた高い実践能力と、いかなる人にも共感し、慈愛と尊敬の念に富む人間性を併せ持ち、チームの一員として信頼され、社会に貢献できる理学療法士を養成する。

人間発達学部

- 子ども教育学科：子ども・人間に対する深い理解を有し、幅広い教養、十分な人権感覚とともに、保育・教育・特別支援に関する豊富な知識・技術を兼ね備え、同僚と連携協力して主体的・積極的に仕事に臨むことができる、高度な保育・教育専門職を養成する。